スポエド

女子バスケ部史上最強へ 江戸川大

1メートル95の絶対エース グッディ導く1部昇格

スポーツ江戸川大
2026年 www.edogawa-u.ac.jp
〒270-0198 千葉県流山市駒木474

女子バスケットボール部は、創部以来最高となった昨年の成績更新を目指す。昨年は関東大学リーグで1部昇格こそならなかったが、全日本大学選手権（インカレ）では3勝を挙げ初のベスト16に進出。また皇后杯の関東予選で4勝し、こちらも創部以来初のファイナルラウンド出場を果たした。

過去最高 皇后杯ファイナルR進出 インカレ16強の昨年超え必ず

◇2025－26年皇后杯試合結果◇

月日	勝	スコア	対戦相手
7. 13	○	92－75	大堂天満 大大
11. 29	○	85－84	順天堂 大大
30	○	82－78	城西栄 大大
30	●	87－73	拓殖共 大大
1. 5	●	79－88	ミツウロコ 大大

◇2025年インカレ試合結果◇

月日	勝	スコア	対戦相手
12. 6	○	118－70	聖カタリナ 大大
9	○	83－59	星薬科 関東大会
10	○	61－43	武庫川女子 大大
11	●	57－99	東京医療保健 大大

強いフィジカルが持ち味の戸塚

正確無比なスリー上岡
リバウンドで貢献大森
フィジカルで圧倒戸塚

燃える4年生さあ集大成イヤー

チームの中心には身長1・95でリーグ得点王のオズンバ・グッドネス・アヨミデ（経営社会4年、岩手・一関学院高）がいる。更なる躍進の鍵を握るのは、周りを固める3人の4年生だ。

上岡こころ（経営社会4年、栃木・矢板中央高）は3Pシュートとボールを持った選手の意図を即座に読み取る「合わせの動き」が持ち味だ。「グッディ（アヨミデ）を中心に点をとって勝ちたい」と話す。エースが周囲を使うことで始まった昨年の快進撃を再現する。

強いフィジカルが持ち味の戸塚日和多（経営社会4年、茨城・明秀日立高）は「ドライブとジャンプシュートで得点し、ディフェンスでチームに貢献したい」と特長を存分に生かす。今年は自分の代が中心にチーム一丸となって戦いたい」と自覚十分で心強い。

大森野乃子（経営社会4年、石川・翔学園高）は「江戸大の強みは全員でハードワークすること。ディフェンスから一人一人がハードワークして戦うと献身的なプレーを誘う。得意な合わせのシュートとリバウンドでチームを支える。部員一人一人が1部に向けて、着実に歩みを進める。4年生の振る舞いがチーム文化を築いている。限られた練習時間の中で、選手同士が声を掛け合い、課題を共有する姿は印象的だ。試合分析や練習準備を担う学生スタッフの言葉に選手が真摯に耳を傾けるのも、全員が同じ目標に向かっているからだろう。コート内外の結束力こそが、江戸川大学の最大の強みだ。

チーム史上最高だった昨年の成績を超えたとき「史上最強」チームの称号を手にする。

チームをけん引するエースのアヨミデ

☆紙面編集　荒木 愼之介　松﨑 航大

この人のココがすごい

実はすごいんです。この人のこんな一面が…。チームメートしか知らない女子バスケットボール部の意外な一面を、3人の選手たちに暴露!?してもらった。

衛藤 怜奈（こどもコミュニケーション3年 千葉・昭和学院高）→ **石川 優希**監督

今日はどんなシューズ？

「選手ではないんですけど」と少し気まずそうに衛藤が挙げたのは、シューズコレクターとしての石川優希監督。シューズのバリエーションが豊富で練習で毎日違うものを履いているという。いったい何足持っているのか…と選手たちは今日も目を光らせている。

高橋 怜以（経営社会3年 埼玉・松伏学園高）→ **衛藤 怜奈**

自炊達人の得意料理とは

衛藤がチーム屈指の料理人であるとの情報が、高橋からもたらされた。確認すると、確かにほとんど毎日自炊しているという。衛藤は「大学入学当初から自炊を始めてもう3年目」と話す。これだけ続けて上達しないわけはないだろう。得意料理はタコライスだ。

渡辺 優亜（こどもコミュニケーション3年 東京・文化学園大杉並高）→ **グッディ**

オシャレ番長の〝頭〟争心

グッディ（アヨミデ）のヘアアレンジの種類の多さは群を抜く。中でも渡辺が印象的と挙げるのは、Eテレ「にほんごであそぼ」のコニちゃんをほうふつさせる大胆な髪形だそう。次にやってもらいたいのは「ツインテールですかね」と期待が高まる。

江戸川大学
EDOGAWA UNIVERSITY

社会学部
人間心理学科
現代社会学科
経営社会学科

メディアコミュニケーション学部
マス・コミュニケーション学科
情報文化学科
こどもコミュニケーション学科